



2010.1.1

vol. 46

発行元：西宮渡辺病院

〒662-0863 西宮市室川町10番22号
TEL:0798(74)2630 FAX:0798(74)7257

ホームページ <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



生き甲斐のある、身の丈にあった生涯

～臨床知識の構造化、標準診療計画の戦略と推進～

医療法人 高明会
名誉理事長 渡邊 高



大正15年寅年生まれの私は、今年で7回目の寅年を迎えました。昭和40年西宮渡辺病院を開設し、昨年11月は45回目の開院記念日を祝い、理事長を佐々木恭子に移譲しました。在任中は御支援をありがとうございました。

古今未曾有の阪神・淡路大震災後、西宮は文教都市に相応しい若者の街、且つ、高齢者に優しい街に変わった、日本では珍しい都市です。私共の病院は、

生きている限り自分の足で歩ける関節、たくましい心臓や強い血管、食事が摂れる消化器、そして加齢に対する心のケアなど、身の丈にあった地域医療をそれぞれの分野で展開しています。

先進医療機器で診断治療を支え、また、各分野のエキスパートでチーム医療を行いますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



あけましておめでとうございます



医療法人 高明会
理事長 佐々木 恭子

不況、医療崩壊、格差社会 etc・・・暗い気持ちで過ごした昨年、今年こそはと願わずにはいられません。

昨年45周年を迎えた私共の法人も、気持ちを新たに今年の歩みを開始します。地域医療の崩壊や救急医療の崩壊、確かな処方箋の描けぬこの国の医療行政の打開には、皆様と私共医療機関が協力し私共の地域に相応しい医療を自らの努力で構築していく他ありません。私共の使命は皆様の健康維持への貢献あり、その使命を果たすための目標と夢を掲げての歩みを開始しました。

新年早々には『西宮人工関節センター』主催による講演会や、『西宮渡辺病院』2階病棟の回復期リハビリ病棟への変更を予定しています。痛みのない自立

した生活の維持は高齢化社会における万人の願いであり、その願いに役立つ医療が私共の願いでもあります。また、『西宮渡辺心臓・血管センター』は地域の循環器医療の要であり、皆様の命を守る砦となる決意で新年を迎えました。その他『介護老人保健施設ハートケア西宮渡辺』、『グループホームむろかわ』、『疾病予防運動施設 健康塾』、『訪問看護ステーションむろかわ』、『居宅介護支援センターむろかわ』といった私共の全施設には、“この地域の健康を守り、医療を守る砦になりたい”との願いがあります。皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いすると共に、皆様のご多幸をお祈り致します。

今年もよろしくお願ひ致します。





あけましておめでとうございます



西宮渡辺病院

副院長 佐々木 健陽



あけましておめでとうございます。

昨年1月当院において若手医師、看護師のための骨折治療(AO法)セミナーを開催し、たくさんの参加がありました。4月には西宮人工関節センターを開設し、福岡、政田医師が赴任しました。5月には大阪市立大学医学部整形外科名誉教授高岡医師を当院顧問として迎えることができました。

医療は日進月歩です。本年は、地域の皆さんや医療関係者の皆さんに確実に心ある最新の整形外科を提供できる医療を目指します。本年もどうぞよろしくお祈りします。



西宮渡辺病院

副院長 植田 昌平



あけましておめでとうございます。

昨年は、個人的には尿管結石を患ったり家内が入院したりとあまり良い年ではありませんでしたが、自身の体験は、患者さんとのコミュニケーションや診療において多いにプラスになったと思っております。昨今の救急医療の現場における厳しい現実の中で、地域に根ざした病院の担う救急医療の使命を果たすべく何とか努力してきました。まだまだ、マンパワーの問題等ありますが、あくせくせずに、本年も“患者さんのために”今できることをやっつけていこうと思っています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



西宮人工関節センター

センター長 福岡 慎一



昨年4月に開設させていただき

ました西宮人工関節センターも近隣の先生方からの紹介、ご協力をいただき、徐々に軌道に乗り始めております。この場を借りて御礼申し上げます。

本年はスタッフを充実、手術枠を拡大し、より多くの患者に対応できる体制を作ります。また、講演活動などで地域の皆様への啓蒙活動やリサーチ、学会活動も積極的にしていきます。

私の専門分野である関節外科で少しでも阪神地区の地域医療に貢献できればと考えております。本年も何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。



西宮渡辺病院

外科部長 蓮池 康徳



あけましておめでとうございます。

昨年末より赴任いたしました。専門分野は消化器外科です。大阪大学第二外科助手、国立大阪病院外科医長、県立西宮病院外科部長、医誠会病院副院長時代の経験を生かして、患者さんにあった治療を展開したいと思っております。胃腸系はもとより、腹腔鏡下胆嚢摘出千例、肝切除五百例、腓手術三百例以上の実績があります。



西宮渡辺病院

看護部 堀田 礼子



昨年は7月から療養病棟を再開し、

急性期から回復期にかけて病態周期に応じた看護の提供が行なえる環境となりました。診療科においても整形外科の専門化、外科診療の拡大など患者様のQOLを考えた急性期医療の展開が実践されてきました。今後は看護においても専門性を追求し、患者様のニーズに応じた質の高い看護の提供と個人の能力開発が課題と考えております。

2010年も他部門と連携し地域医療の責務が果たせるよう取り組みたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。



西宮渡辺病院

事務長 山岡 泉



あけましておめでとうございます。

私ども医療法人高明会西宮渡辺病院は、昨年11月に創立45周年を迎えることができました。これも偏に地域の先生方のお力添えや、地元住民の皆様方のご支援の賜と感謝いたしております。

今年も患者様中心の医療を心がけ、地域の医療機関の皆様からより一層信頼される病院となりますよう、事務職員一同努力を続けてまいります。よろしくお願いいたします。





各部署より 新年のご挨拶を申し上げます



西宮渡辺病院

放射線技師長 和気 利充



昨年は、西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓・血管センターとともに放射線科のスタッフが変わり試行錯誤しながらがんばってきましたが、患者さま・職員に大変ご迷惑をかけた年でした。そのため、業務・作業内容を見直しながらの非常に忙しい年でした。

今年は、昨年作り上げてきた事を充実させていきたいと思っています。そして、西宮渡辺病院と心臓・血管センター共に連携をとり放射線科一同の技術・レベルを高めていきたいと思います。また接遇面も考え、患者さま・職員から信頼される放射線科づくりを目指していき、地域医療に貢献できればと思います。



西宮渡辺病院

薬剤部長 松山 光明



昨年の黄金週間からは、新型インフルエンザとの戦いの1年でした。このむろかわNEWSを読んで頂ける頃には年末年始の人の移動、初詣での濃厚接触により新型インフルエンザが再流行しているかもしれません。A型そしてB型、3種類のインフルエンザとの戦いの入り口でしょうか。新型インフルエンザワクチン接種のピークでもあります。

今年は蓮池先生の指導のもとに昨年暮れから再開した化学療法に力を入れたいと思います。

優秀なスタッフに感謝して、今年もガンバです。



西宮渡辺病院

検査科 福岡 幸男



あけましておめでとうございます。旧年は、新型インフルエンザが流行し、地域の皆様の健康が脅かされた年だったと思います。今、医療を取り巻く環境は、日々進歩し続けております。その変化に迅速に対応していけるよう、当院検査技師一同、最新の知識を身に付け、地域の皆様の健康に貢献していきたいと思えます。



西宮渡辺病院

リハビリ科 主任 松崎 光裕



本年より、回復期リハ棟が開設されるのに伴い、リハビリの果たす役割はますます大きくなっていきます。私たちは、今年も引き続き早期離床を進めると同時に、患者様の二次障害の予防・早期回復、退院を目指していきたいと思えます。

そのため、今一度個々が自覚を持って、定期的に綿密な評価を行ないながらプログラムを検討し、より質の高いリハビリを展開していけるよう、努力してまいりたいと思えます。



西宮渡辺心臓・血管センター

センター長 民田 浩一



新年おめでとうございます。昨年7月に赴任し、早半年が過ぎました。紆余曲折もございましたが、この地域で信頼される循環器専門病院を目指してセンター全員で一步一步前進をしております。

循環器では救急は勿論、疾患予防まで重要であるため24時間救急体制を整えるとともに長期にわたる疾患予防も含めて力を尽くしたいと思っております。今後とも宜しく願いいたします。



西宮渡辺心臓・血管センター

心臓血管外科部長 吉田 和則



一昨年6月から当センターに赴任後、心臓血管外科手術を開始致しまして、無事200例をこえる事ができました。

昨年7月からは、私が赴任以来ずっとラブコールを送っていただきました民田浩一先生に、循環器内科部長として着任して頂ける事となり、思い描いていた治療を始める事ができるようになりました。

当センター職員が一丸となって、地域の皆様のニーズにお応えできる治療ができるように頑張りたいと思えます。何卒よろしく願い致します。モットーは、Speedy (迅速に) & Safety (安全に) & Steady (堅実に) です。





本年もどうぞよろしくお願ひ致します



西宮渡辺心臓・血管センター

看護部長代理 田中 ひとみ



あけましておめでとうございます。
当センターも4年目に入り、循環器の救急病院としてスタッフ一同頑張っています。昨年の9月から、心臓リハビリが本格的に開始になり各職種との連携を図りながら取り組んでいます。また近年、睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome;SAS)が循環器系(不整脈)へ及ぼす影響もあり、SASの検査入院も定期的に行われた結果により、CPAP療法など予防的治療がなされています。いろいろな検査や治療が行われる中、治療上必要な制限もあり患者様にとっては、不安も大きく看護師の果たす役割も重要です。制限された中で患者様の不安や苦痛を少しでも取り除き、安心した入院生活を送ることができるように日々努力していきたいと思ひます。



ハートケア西宮渡辺

副施設長 平松 二美



昨年は、介護保険制度の大きな改正もあり、介護保険事業所にとっては対応に追われて大変な1年となりました。ハートケアでは目標としていた『地域に愛される老健』として、在宅で生活しておられる利用者様の現在の機能を少しでも維持向上していただくために、土曜日にもご利用いただける体制を作りました。

今年は日曜日の営業も開始し、『地域に開放された老健』への展開をはかります。気軽に立ち寄り、可愛がっていただける老健を目指し、入所・通所ともに協力して、今年も邁進してまいります。



グループホームむろかわ

管理者 濱崎 節子



明けましておめでとうございます。
地域に根ざした明るいグループホームを目指して、今年で7年目になります。

昨年もリハビリ体操や粘土細工、手作り教室など楽しい行事で、たくさんの笑顔を見ることができました。体調をくずされた際には、隣接する病院に受診して早めの対応を、またインフルエンザや肺炎球菌ワクチンを全員接種して頂き、疾病予防に留意しています。いつも笑いが絶えない、明るいグループホームとして今年も努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



疾病予防運動施設 健康塾

主任 石田 仁



4年目を迎え、医療機関併設の強みを活かし、疾病や障害を抱えた方々が安心して利用できる環境づくり、効果あるあたたかな指導をスタッフ一同心がけて指導してまいりました。

本年も地域に愛される施設を目指して頑張りたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



訪問看護むろかわ

管理者 吉川 光江



居宅介護むろかわ

管理者 松本 いずみ

医療福祉の現場は、高齢者、障害者、慢性疾患患者、およびその家族など社会の中でも厳しい状況に置かれた人達と出会う場です。私達は、人生の重荷を背負った人達の苦しみが、医療福祉に携わる専門職の提供するケアによって少しでも軽くなり笑顔が取り戻されることを願っています。医療処置やリハビリ、また介護サービスなどお気軽にご相談下さい。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。



心臓カテーテル検査後食(カテ後食)の提供について

心臓カテーテル検査後の患者様は一晩利き手を使いにくい状態にあります。

そこで当センターでは、「カテ後食」の提供を開始致しました。オニギリや肉団子といった、非利き腕でもフォークやお箸を使って食べやすい形態となっております。今後も患者様に満足していただけるよう検討を重ねてまいります。



西宮渡辺心臓・血管センター
管理栄養士 大橋 正和